

就労継続支援 A 型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

| | | |
|--------|--|--|
| 事業所名 | hibino-shiawase | |
| 人員配置区分 | 1. I 型 (7.5 : 1) | 2. II 型 (10 : 1) |
| 定員区分 | <input type="checkbox"/> 1 21人以上40人以下 <input type="checkbox"/> 2 41人以上60人以下 <input type="checkbox"/> 3 61人以上80人以下 <input type="checkbox"/> 4 81人以上 <input type="checkbox"/> 5 20人以下 | |
| 評価点区分 | <input type="checkbox"/> 1 評価点が170点以上 <input checked="" type="checkbox"/> 2 評価点が150点以上170点未満 <input type="checkbox"/> 3 評価点が130点以上150点未満 <input type="checkbox"/> 4 評価点が105点以上130点未満 <input type="checkbox"/> 5 評価点が80点以上105点未満 <input type="checkbox"/> 6 評価点が60点以上80点未満 <input type="checkbox"/> 7 評価点が60点未満 <input type="checkbox"/> 8 なし (経過措置対象) | |
| 評価点の公表 | インターネット利用 | (公表場所) ホームページ (URL) https://hibino-shiawase.info/ |
| | その他 | |

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。


注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

| | | | |
|------|------------------------------|-------|-----------|
| 事業所名 | hibino-shiawase | 事業所番号 | 110405008 |
| 住所 | 北海道札幌市白石区菊水 2 条 3 丁目 1 - 2 5 | 管理者名 | 長谷川幸郎 |
| 電話番号 | 0113744660 (AI電話) | 対象年度 | 令和7年度 |

地域連携活動の概要

| | |
|---|--|
| <p><活動内容></p> <p>活動場所 札幌市内公園</p> <p>実施日程 毎週土曜</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要</p> <p>利用者数 等 2 - 4 名</p> <p>ケーキ移動販売：就労継続支援事業所アイ支援センターhibino-shiawaseが地域企業と連携し、移動販売代行。利用者の社会参加と就労機会を創出。実践的な職業訓練も提供。</p> | <p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p> <p>成果物の写真</p>  <p>"東札幌やまびこ公園において、地域企業と連携したケーキの移動販売を実施した。利用者は商品の運搬準備、販売場所の設営、商品陳列、販売補助などの作業に参加し、地域住民へ商品を提供する活動を行った。公園利用者や地域住民との交流の機会にもなり、実際の販売業務を体験することで接客や作業手順の理解を深める機会となった。"</p> |
| <p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい:地域企業と連携したケーキの移動販売活動を通して、利用者が実際の販売業務を経験する機会を創出し、接客・商品管理・販売補助などの実践的な職業スキルの習得を目的とする。また、地域社会との関わりを深め、社会参加の機会を広げることがねらいとする。</p> <p>地域にとってのメリット:地域企業の商品を移動販売という形で提供することで、地域住民に商品を提供する機会を増やし、地域の商業活動の活性化に寄与する。また、福祉事業所との連携により、地域</p> <p>対象者にとってのメリット:販売準備、商品陳列、接客補助などの実務経験を通して、働くことへの自信や責任感を育むことができる。また、地域の方との交流を通じてコミュニケーション能力の向上や社会参加意識の向上が期待できる。</p> | |
| <p><成果></p> <p>実施した結果:地域企業と連携し、ケーキの移動販売を実施した。利用者は商品の運搬準備、販売補助、商品陳列等の作業に参加し、地域住民へ商品を提供する活動を行った。</p> <p>得られた成果:利用者が実際の販売活動に関わることで、接客や作業手順の理解が深まり、働くことへの意識や自信の向上につながった。また、地域企業との連携により、地域との交流や地域社会への参加機会の拡大につながった。</p> <p>課題点:販売業務に不慣れな利用者もいるため、接客対応や作業手順の理解を深めるための事前説明や役割分担の明確化が必要である。今後は作業手順の整理や支援体制の充実を図り、より円滑な活動実施を目指す。</p> | |


連携先の企業等の意見または評価

| | | | |
|--|---------------|------|----|
| <p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>地域企業との連携により、移動販売を通じて地域住民に商品を提供する機会を創出することができた。利用者が販売準備や商品陳列、接客補助などの業務に参加することで、実践的な就労経験の場となり、地域との交流や社会参加の機会の拡大にもつながった。活動全体として円滑に実施することができ、地域との連携の有効性が確認された。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>今後は、販売業務に参加する利用者の役割分担や作業手順をより明確にし、事前の説明や訓練を充実させることで、よりスムーズな活動運営を目指す。また、販売機会の拡大や活動回数の増加について連携企業と検討し、地域に根ざした継続的な活動として発展させていくことが課題である。</p> | | | |
| 連携先企業名 | (株)エニワンプレジデント | 担当者名 | 中村 |

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

| | | | |
|------|------------------------------|-------|-----------|
| 事業所名 | hibino-shiawase | 事業所番号 | 110405008 |
| 住所 | 北海道札幌市白石区菊水 2 条 3 丁目 1 - 2 5 | 管理者名 | 長谷川幸郎 |
| 電話番号 | 0113744660 (AI電話) | 対象年度 | 令和7年度 |

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

| | |
|--|--|
| <p><活動内容></p> <p>活動場所 札幌市中央区南5条西12丁目1299-36</p> <p>実施日程 2025/12/17</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</p> <p>実地研修：清掃作業における基本的な知識や正しい手順、安全面への配慮を学び、日常業務における清掃品質の向上および作業効率の改善</p> <p>利用者数 等 5名</p> | <p><活動の様子></p> <p>活動の様子の写真</p> <p>成果物の写真</p> <p>活動内容の追加コメント</p>  |
| <p><目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>研修では、清掃作業に必要な基礎知識の説明に加え、実際の清掃道具を使用した実技指導が行われた。具体的には、床清掃の手順、モップや清掃用具の正しい使い方、汚れの種類に応じた対応方法について説明があり、実践を通して理解を深める</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <p>作業中の安全確保や周囲への配慮の重要性を再認識、安全に作業を行いつつ生産性の向上を図る</p> | |
| <p><成果> 実施した結果</p> <p>清掃作業に関する研修を実施し、清掃道具の正しい使用方法や作業手順、汚れの種類に応じた清掃方法について説明と実践を行った。利用者は実際の作業手順を確認しながら研修に参</p> <p>得られた成果</p> <p>清掃作業における基本的な手順や安全面への配慮について理解が深まり、作業品質の向上につながった。また、作業効率や清掃精度への意識が高まり、日常の作業に対する意欲の向上</p> <p>課題点</p> <p>利用者ごとに理解度や作業習熟度に差が見られるため、今後は定期的な研修の実施や作業手順の確認を行い、継続的に知識と技能の定着を図る必要がある。</p> | <p>清掃作業に使用する掃除機の部品（取っ手）の取り付け方や取り出し方、正しい使用方法について説明を行った。実際の清掃作業の動画を視聴しながら、作業手順や効率的な清掃方法について確認し、利用者同士で意見交換を行った。研修では、清掃作業時の安全面への配慮や道具の適切な取り扱いについても学び、実際の作業を想定した理解を深める機会となった。</p> |

連携先の企業や事業所等の意見または評価

| | |
|---|--------------------|
| <p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>研修を通じて清掃作業に関する基本的な知識や道具の正しい使用方法について理解が深まり、利用者の作業に対する意識向上につながった。動画による作業手順の確認や実物を用いた説明により、実際の作業を具体的にイメージしながら学ぶことができ、実務に役立つ内容であったとの評価があった。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>利用者の理解度や習熟度には個人差があるため、今後は実技を含めた研修の機会を増やし、より実践的な学習機会を設けることが必要である。また、定期的な研修の実施や作業マニュアルの共有を通じて、継続的な技能向上と連携体制の強化を図っていくことが課題である。</p> | |
| 連携先企業（担当者） | 一般社団法人蝦夷サポート協会（佐藤） |

利用者からの意見・評価

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 清掃道具の使い方や作業手順について改めて確認することができ、今後の作業に役立つと感じた。・ 動画を見ながら説明を受けることで、実際の清掃作業の流れが分かりやすかった。・ 道具の扱い方や安全面について学ぶことができ、作業を行う際の意識が高まった。 |
|--|

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

| | |
|------|----------------------|
| 事業所名 | hibino-shiawase |
| 住 所 | 北海道札幌市白石区菊水2条3丁目1-25 |
| 電話番号 | 0113744660 (AI電話) |

| | |
|-------|-----------|
| 事業所番号 | 110405008 |
| 管理者名 | 長谷川幸郎 |
| 対象年度 | 令和7年度 |

| (I) 労働時間 | | 65 点 |
|--|---|---------|
| ①1日の平均労働時間が7時間以上 | | |
| ②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満 | | |
| ③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満 | ○ | |
| ④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満 | | |
| ⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満 | | |
| ⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満 | | |
| ⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満 | | |
| ⑧1日の平均労働時間が2時間未満 | | |
| ①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点 | | |

| (II) 生産活動 | | 60 点 |
|---|---|---------|
| ①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上 | ○ | |
| ②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上 | | |
| ③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上 | | |
| ④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上 | | |
| ⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満 | | |
| ⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満 | | |
| ①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点 | | |

| (III) 多様な働き方（※） | | 15 点 |
|---|---|---------|
| ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ②利用者を職員として登用する制度 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ③在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ④フレックスタイム制に係る労働条件 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ⑤短時間勤務に係る労働条件 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ⑥時差出勤制度に係る労働条件 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 | | |
| 就業規則等で定めている | ○ | |
| 小計（注1） | | 8 点 |
| （※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点 | | |

| (IV) 支援力向上（※） | | 5 点 |
|--|---|--------|
| ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 | | |
| 参加した職員が1人以上参加している | ○ | |
| ②研修、学会等又は学会誌等において発表 | | |
| 1回以上の場合 | | |
| ③視察・実習の実施又は受け入れ | | |
| いずれか一方のみの取組を行っている | ○ | |
| ④販路拡大の商談会等への参加 | | |
| 1回以上の場合 | | |
| ⑤職員の人事評価制度 | | |
| 人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している | ○ | |
| ⑥ピアサポーターの配置 | | |
| ピアサポーターを職員として配置している | | |
| ⑦第三者評価 | | |
| 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。 | | |
| ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 | | |
| 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている | | |
| 小計（注2） | | 3 点 |
| （※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点 | | |

| (V) 地域連携活動 | | 10 点 |
|--|---|---------|
| 地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している | ○ | |
| 1事例以上ある場合：10点 | | |

| (VI) 経営改善計画 | | 0 点 |
|---|---|--------|
| 経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。 | ○ | |
| 期限内に提出していない場合：-50点 | | |

| (VII) 利用者の知識・能力向上 | | 10 点 |
|--|---|---------|
| 前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。 | ○ | |
| 1事例以上ある場合：10点 | | |

| 項目 | 点数 |
|-------------|--------------------------------|
| 労働時間 | 5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点 |
| 生産活動 | -20点 -10点 20点 40点 50点 60点 |
| 多様な働き方 | 0点 5点 15点 |
| 支援力向上 | 0点 5点 15点 |
| 地域連携活動 | 0点 10点 |
| 経営改善計画 | 0点 -50点 |
| 利用者の知識・能力向上 | 0点 10点 |

| | | |
|----|-----|----------|
| 合計 | 165 | 点 / 200点 |
|----|-----|----------|

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

| (I) 労働時間 | | | | | | | | | |
|---|-----------|----|-------------------------------|------------|---|--|--------------|----|--|
| 前年度（令和 7 年度） | | | | | | | | | |
| 雇用契約を締結していた全 ての利用者における延べ労働時間 | 31,848 | 時間 | 雇用契約を締結していた延べ利用者数 | 51 | 人 | 利用者の 1 日の平均労働時間数 | 6.8 | 時間 | |
| (II) 生産活動 | | | | | | | | | |
| 会計期間（ 4 月～ 3 月） | | | | | | | | | |
| 前々々年度（令和 5 年度） | | | | | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 2,264,022 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 1,690,152 | 円 | 収支 | 573,870 | 円 | |
| 前々年度（令和 6 年度） | | | | | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 9,923,706 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 8,323,614 | 円 | 収支 | 1,600,092 | 円 | |
| 前年度（令和 7 年度） | | | | | | | | | |
| 生産活動収入から経費を除いた額 | 6,154,263 | 円 | 利用者に支払った賃金総額 | 23,428,994 | 円 | 収支 | ▲ 17,274,731 | 円 | |
| (III) 多様な働き方 | | | | | | | | | |
| 前年度（R7年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載） | | | | | | | | | |
| ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 | | | ②利用者を職員として登用する制度 | | | ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 | | | |
| ◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている（はい） | | | ◎利用者を職員として登用する制度を定めている（はい） | | | 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている（はい） | | | |
| ④フレックスタイム制に係る労働条件 | | | ⑤短時間勤務に係る労働条件 | | | ⑥時差出勤制度に係る労働条件 | | | |
| ◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている（はい） | | | ◎短時間勤務に係る労働条件を定めている（はい） | | | ◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている（はい） | | | |
| ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 | | | ⑧傷病休暇等の取得に関する事項 | | | | | | |
| ◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている（はい） | | | ◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている（はい） | | | | | | |
| (IV) 支援力向上 | | | | | | | | | |
| 前年度（R7年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載） | | | | | | | | | |
| ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 | | | ②研修、学会等又は学会誌等において発表 | | | ③視察・実習の実施又は受け入れ | | | |
| ◎研修計画を策定している | | | ◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している | | | ◎先進的事業者の視察・実習の実施している | | | |
| ◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している。 | | | ※研修、学会等名 | | | もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている | | | |
| ※研修名：社会生活研修（毎月開催） | | | 実施日 月 日 | | | ※先進的事業者名 就労継続支援A型事業所 hibino-kagayaki (ヒビノカガヤキ) | | | |
| 研修講師：若崎誠先生 | | | ※学会誌等名 | | | 実施日/参加者数 4月25日 2人 | | | |
| 実施日・受講者数 2月 26日 4人 | | | 掲載日 月 日 | | | ※他の事業所名 就労継続支援A型事業所 hibino-kagayaki (ヒビノカガヤキ) | | | |
| | | | 発表テーマ | | | 実施日/参加者数 4月25日 2人 | | | |
| ④販路拡大の商談会等への参加 | | | ⑤職員の人事評価制度 | | | ⑥ピアサポーターの配置 | | | |
| ◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している。 | | | ◎職員の人事評価制度を整備している | | | ◎ピアサポーターを配置している | | | |
| ※商談会等名 | | | ◎当該人事評価制度を周知している | | | ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している | | | |
| 主催者名 | | | 人事評価制度の制定日 ##年 5月 1日 | | | ※配置期間 月 日～ 月 日 | | | |
| 日時 月 日 | | | 人事評価制度の対象職員数 0名 | | | 就業時間 | | | |
| 内容 | | | うち昇給・昇格を行った者 0名 | | | 職務内容 | | | |
| | | | 当該人事評価制度の周知方法 | | | | | | |
| | | | 事業所内掲示 | | | | | | |
| ⑦第三者評価 | | | ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 | | | | | | |
| ◎前年度末日から過去 3 年以内に 福祉サービス第三者評価を受けている | | | ◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている | | | | | | |
| ※評価を受けた日 月 日 | | | ※認証を受けた日 月 日 | | | | | | |
| 第三者評価機関 | | | 規格等の内容 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| (VI) 経営改善計画 | | | | | | | | | |
| ◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 | | | | | | | | | |
| ※受理日 年 月 日 | | | | | | | | | |

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。